

平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	10	05	01	104390	視聴覚教育推進事業	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-3	生涯学習の推進			
	施策	1	自主的学習の推進			
目的	生涯学習の取り組み支援					
対象	市民、市内に勤務先を有する者					
意図	生涯にわたって学ぶ習慣を身につけることができる					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
視聴覚教育事業 ・視聴覚資料の貸出（学校、振興センター、自治公民館等） ・16ミリ映写機操作技術講習会 ・16ミリ映写機オーバーホール（1台）、保守点検（6台） ・プロジェクター保守点検（3台） ・図書館こども映画会（毎月1回） ・夏・冬・春休みこども映写会（各1回） ・こども読書週間時 1回 ・読書週間時 2回 ・休日ほっと映画会（毎月1回） ・バリアフリー映画会（聴覚障害者等）						
市民参画の有無 []						
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		
		後援・協賛		補助・助成		
事業協力・協定		委託				
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	視聴覚資料の利用本数	本	計画	360	370	
			実績	303	326	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	視聴覚資料を活用した観覧者数	人	目標	6,600	6,700	
			実績	5,421	6,898	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)	
各振興センター等へ視聴覚資料の利用促進の広報を行ったことなどにより、目標値以上の成果を達成したものと推測される。	
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない 社会教育法第5条第1項17号に規定されている市町村教育委員会の事務である。
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない 子供向けの映画会については、児童が視聴できる開催時間、開催日を再検討をする。また、多くの市民に視聴覚ライブラリーの活用を促すために、図書館ホームページや振興センターを通じて情報提供を積極的に行うことで視聴覚資料の利用拡大を図る。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない ・事業の7割が人件費で、事業費の削減余地はない。 ・非常勤職員1名で映画会を月2回及び春・夏・冬・読書週間の休業期間の映画会に対応している。また他には他市町村や市内の団体等への視聴覚資料の貸出しや16ミリ講習会、カウンター業務及びレファレンス業務に当たっており、削減の余地はない。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である 市内生涯学習団体等に資料等の提供を行っているもので、受益者への偏りはない。
総合評価 …上記評価結果の総括	
視聴覚教育事業の実施方法を見直しするとともに、引き続き図書館ホームページに視聴覚ライブラリー情報を提供し、自主的な生涯学習のアイテムとして社会教育機関等と連携を図り、積極的な活用促進を図っている。	

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	10	05	01	104390	視聴覚教育推進事業

単位：千円

		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		2,739	2,636		△ 103
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	2,739	2,636		△ 103

事業期間	○ 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---------	------	-----------------

部重点施策における目標

生涯学習の推進に努めます

事業開始の背景・経緯

社会教育法第5条第12号に規定する視聴覚教育に関する事務で、平成19年3月までは、岩手県中部地域視聴覚協議会として事業を実施してきた。平成19年4月からは、花巻市立花巻図書館に事務事業が引き継がれ、事業を実施している。

事業概要

視聴覚教育事業

- ・視聴覚資料の貸出（学校、振興センター、自治公民館等）
- ・16ミリ映写機操作技術講習会
- ・16ミリ映写機オーバーホール（1台）、保守点検（6台）
- ・プロジェクター保守点検（3台）
- ・図書館こども映画会（毎月1回）
- ・夏・冬・春休みこども映画会（各1回）
- ・こども読書週間時 1回
- ・読書週間時 2回
- ・休日ほっと映画会（毎月1回）
- ・バリアフリー映画会（聴覚障害者等）

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

視聴覚資料の紹介や機器の利用促進を図るため、図書館ホームページを充実させるとともに、振興センター等へ積極的に情報提供を行う。

担当部署 部名 生涯学習部 課名 花巻図書館 担当係長 伊藤 佐代 内線 8-383

(単位：千円)

【事業手法の詳細】…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

○ 事業の概要

- ① 視聴覚教育の相談及び教材の貸出（年間）
- ② 16ミリ映写機操作技術講習会（年1回）
- ③ 16ミリ映写機オーバーホール（1台）、保守点検（6台）
- ④ 図書館こども映画会（毎月1回）
- ⑤ 夏・冬・春休みこども映画会（各1回）
- ⑥ こども読書週間時 1回
- ⑦ 読書週間時 2回
- ⑧ 休日ほっと映画会（毎月1回）
- ⑨ バリアフリー映画会（聴覚障害者等）

○ 経費の内訳

- | | | |
|---------------|-------|--------------------|
| 1 報酬 | 1,905 | 社会教育指導員1人 |
| 2 共済費 | 263 | 社会教育指導員社会保険料等 |
| 3 報償費 | 18 | 16mm映写機操作講習会講師謝礼 |
| 4 旅費 | | 視聴覚教育協議会会議等 |
| 5 需用費 | 63 | 映写ランプ等 |
| 6 役務費 | 139 | 16mm映写機保守点検料等 |
| 7 備品購入費 | 231 | 視聴覚資料（DVD） |
| 8 負担金補助金及び交付金 | 17 | 岩手県地域視聴覚教育協議会連絡協議会 |

- 保守点検対象機器所有台数
16ミリ映写機 25台(花図5・大図1・石図1・東図2・学校1・振興センター7他)
- 花巻図書館ライブラリー機材保有台数
①DVDプレーヤー 1台
②プロジェクター 4台(花巻2、石鳥谷1、東和1)
③ビデオデッキ 4台(花巻1、大迫1、石鳥谷1、東和1)
- 花巻図書館ライブラリー資料所有本数
①16ミリフィルム 126本
②DVD 267本
③ビデオテープ 736本
- 平成28年度花巻市内教材利用状況（県内ライブラリー借用上映も含む）
観覧者数 6,898人 上映回数 240回 教材使用本数 326本
- 平成28年度16ミリ映写機保守点検（6台）
・16ミリフィルムの破損防止を図るため、利用頻度の高い機器を中心に数年に1回点検を実施
花巻図2、石鳥谷図1、東和図1、生涯学園都市会館1、宮野目振興センター1
(交換部品がある場合は所有者負担)
・プロジェクター保守点検（3台）
花巻図1、石鳥谷図1、東和図1
・16ミリ映写機オーバーホール 1台（花巻図）